

「喜寿を祝う会」 小学校昭 37 年卒松組

2026 年 5 月 22 日（金）

「健やかに真面目にともに七十七年」、我ら松組の仲間 21 名は府中に結集、喜寿を祝った。これまで還暦などの節目に入学時の担任、井上民子先生にご出席頂いてきたが、その先生も四年前に他界、一抹の寂しさを感じる。

久し振りの再会、「老けたね」「太ったね」「シワが増えたね」は禁句、むしろ高齢社会にあって「77歳まだまだ鼻たれ小僧」との声あり。また膝痛など身体の「経年劣化」を嘆くより『松』の枝ぶりが手入れ次第で美しさを増す「経年美化」を求めようとの提案も。

有志による歌唱、さらに全員で「ふるさと」そして「学苑賛歌」を熱唱、険に浮かぶは当時の友たちの顔とあの懐かしい学び舎・・・。

引き続く第二部は一月に亡くなった同級生を偲ぶ機会。故人の奥様にも出席頂き、彼の思い出を皆で語る。詩の朗読もあり、寂しさの中にも仲間との絆を強く感じる貴重なひと時となった。

楽しく懐かしい時間も瞬く間に過ぎ、再会を約し散会、二次会に向かう者、明星学苑を訪ねる者、翌日の高尾山記念登山に備える者、それぞれ足取りも軽く帰途についた。

幹事 稲垣恵正

